

平成28年度高松市伝統的ものづくり振興事業報告・決算
【決算額 9,694,752 円】

1 伝統的ものづくり振興審議会開催経費 【事業費 79,944 円】

平成28年度 開催実績 3回 (5/26、8/30、2/3)

2 伝統的ものづくり展示会等補助金 【事業費 2,060,000 円】

<普及啓発/販路開拓/事業者等に対する支援>

普及啓発・販路開拓等を目的とした、以下の展示会に対し、助成を行った。

- ・香川の家具とぬりもの新作見本市補助金 1,000,000 円
- ・庵治ストーンフェア補助金 500,000 円
- ・全国漆器展補助金 40,000 円
- ・香川の漆器まつり補助金 520,000 円



3 伝統的ものづくり夏休み親子体験教室 【事業費 548,654 円】

<普及啓発>

市の実施する夏休み親子体験講座を取りまとめたチラシに本事業も掲載し、小学校全校に配布し、はがきにより募集を行った。応募者総数391組より、抽選を行い、各コース親子15組×2回(午前・午後)実施した。

	コース	参加者	場所
①	菓子木型を使った和三盆・練りきりづくり体験 (7/25)	30組	四番丁スクエア
②	讃岐のり染め藍染めハンカチづくり体験 (7/25)	30組	
③	香る畳のマウスパッドづくり体験【小4以上】 (7/28)	29組	瓦町フラッグ 8階
④	讃岐かがり手まりづくり体験【小4以上】 (7/28)	29組	
⑤	黒松の苔玉づくり体験 (7/28)	29組	I KODE瓦町
	計	147組	



4 伝統的ものづくり学校巡回教室

【事業費 750,000 円】

<普及啓発>

次代を担う子どもたちが伝統的ものづくりについて理解と関心を深めるとともに、高松の歴史を伴う伝統的ものづくりに関する教育の推進、自分の住んでいる都市に対して「誇り」や「愛着心」の醸成に寄与することを目的に実施した。高松市内の小中学校に希望調査をとり、希望のあった学校に伝統的ものづくりの職人を派遣し、学校にてワークショップを開催した。

	コース	小学校数	小学校参加人数
①	香川漆器コース	3校	139名
②	庵治石コース	3校	141名
	計	6校	280名



5 伝統的ものづくり人材育成県外派遣事業

【事業費 548,570 円】

<人づくりの推進/事業者等に対する支援>

ものづくり(伝統工芸)振興の先進地であり、高松市と文化・観光交流都市提携を結んでいる、石川県金沢市へ、公益財団法人松平公益会の助成金協力を得て、平成28年11月17日～19日の2泊3日に高松市の伝統的ものづくりに関わるメンバー7名を派遣した。

金沢市伝統工芸の現場やそれに携わる人と意見交換等の場を持つことで、商品開発や製造だけでなく、販路開拓に至るまで、いかにして伝統工芸を産業として発展させていくかを事業者自らが考え、次に繋ぐことができるような事業等の検討を行うとともに、事業者間のネットワークの推進に繋げる。

□派遣者

区分	氏名	事業所名
漆器	後藤 孝子	(有)宗家後藤盆 (香川県漆器工業協同組合青年部)
庵治石	古川 利克	古川石材 (石翔会)
漆芸	土田 百合香	さぬきうるし未来創造団体 Sinra
庵治石	落合 賢	落合重石材 (AJI PROJECT)
理平焼	紀太 信吾	理平焼窯元
関係団体	平田 宗展	高松市牟礼庵治商工会
販売関係	谷 真琴	まちのシューレ963

6 伝統的ものづくり事業者対象セミナー 【事業費 174,600円】
 <販路開拓/事業者等に対する支援>

平成29年2月27日～28日に、金沢のいいものやいい場所を掲載した金沢のガイド本を出版し、金沢的なセレクトアイテムの展示販売を東京等で開催している岩本 歩弓氏を講師に、数カ所の伝統的ものづくりの事業者に訪問し、商品や現場を見ていただくとともに、金沢派遣メンバー等との意見交換会を開催した。

高松のものづくり・商品の切り口の多様性を探り、観光との結び付け方や、発信の仕方、見方等、異業種との意見交換をしながら、新たな視点を見つけるきっかけとなった。

区分	事業者	
事業者訪問	5事業所	6名
意見交換会（セミナー）	9名	



◎新

7 世界盆栽大会 in さいたま出展事業負担金 【事業費 540,000円】
 <普及啓発/販路開拓>

開催時期が平成29年4月のため、前年度準備に係る必要経費（高松市ブース設置、ツアー設定）に係る実行委員会への負担金を観光交流課（540,000円）と同額支出し、世界各国の盆栽愛好家等に高松市の盆栽を始めとする、高松市の特産品PRや産地への誘客準備を行った。

大会名称	第8回世界盆栽大会 in さいたま
会期	平成29年4月27日（木）～30日（日）
テーマ	盆栽、～次の100年へ～
主会場	さいたまスーパーアリーナ他



8 伝統的ものづくり振興事業補助金 【事業費 1,429,000円】

<人づくりの推進/事業環境の整備/普及啓発/販路開拓/事業者等に対する支援>

高松市の伝統的ものづくりの技術や素材を活用し、伝統的ものづくり事業者及び関係団体等が取り組む販路開拓や担い手育成に係る事業に対し、費用の一部（上限額 100万円、補助額は総事業費の2/3以内）を補助することにより、自主的な活動の促進や事業者の事業環境の整備を図り、伝統的ものづくりの振興に繋げることを目的としている。

平成28年6月10日から7月8日までの間、事業計画を募集した結果、6事業者の応募があった。うち、販路開拓事業への応募は、3事業者、担い手育成事業の応募は3事業者であり、審査の結果、以下の2事業者の採択を行った。

【補助対象事業】

補助対象 事業区分	事業名	申請事業者
担い手 育成事業	畳技術の継承プロジェクト	有限会社山下畳商店 代表取締役 山下 明宏
担い手 育成事業	まんでがんさぬき漆芸担い手育成事業 ～漆の木の植栽から漆器作りまで まんでがんできる担い手づくり～	中田 大輔



9 香川漆芸魅力発信事業 【事業費 2,565,000円】

<人づくりの推進/事業環境の整備/普及啓発/販路開拓/事業者等に対する支援>

優れた技法が伝わりながら全国的な認知度が低い「香川漆芸」について、ブランド化の核となるブランドイメージの形成を図るとともに、認知度向上と若手漆芸作家の活動支援のための取り組みを香川県と共に実施した。事業の内容としては、若手作家の漆芸美術展や、有力ギャラリー等の招聘を、瀬戸内国際芸術祭（漆の家プロジェクト）や香川漆芸美術展開催期間に行い、香川漆芸の魅力発信とともにブランド化・販路開拓の足がかりとなる事業を実施した。

①新商品開発支援事業

香川漆器の「高級感」という最大の強みを生かしながら、実際に使ってもらえるようなアート性の高いハイエンド実用品の開発支援を行った。

応募資格：若手漆芸作家（香川漆芸の制作実績を有し、原則として平成28年4月1日現在で満40歳未満である者） ※在住地は県内外を問わない

応募者数：8人

委託者数：7人

②有力ギャラリー等招へい事業

美術界、工芸界に強い影響力を持つ有力ギャラリーや雑誌等メディア関係者などを招へいし、香川漆芸の魅力を紹介するとともに、香川漆芸のブランド力強化のためのアドバイスや、県内若手作家に対してマーケットが求める作品についてのアドバイスを求めた。

■小山登美夫氏

（小山登美夫ギャラリー代表、明治大学国際日本学部特任准教授）

平成28年8月20日（土）県立ミュージアム研修室

32名参加

■秋元雄史氏

（金沢21世紀美術館館長、東京藝術大学大学美術館館長）

平成28年8月25日（木）県立ミュージアム研修室

17名参加

■生駒芳子氏

（雑誌「マリクレール」元編集長、（一社）FUTURADITION WAO 代表理事）

平成28年8月26日（金）県立ミュージアム会議室

16名参加

■千葉由希子氏

（世界文化社 雑誌「ときめき」編集長、元「家庭画報」編集部）

平成28年9月17日（土）県立ミュージアム会議室

16名参加

■立川裕大氏

（（株）t.c.k.w 代表取締役）

平成28年9月30日（金）漆芸研究所実習室

29名参加

平成28年10月1日（土）漆芸研究所実習室

13名参加

■青山和平氏

（西福ギャラリー店主、（株）イースト・ミート・ウエスト 代表取締役）

平成28年10月20日（木）漆芸研究所実習室

17名参加

③香川漆芸美術展開催事業

瀬戸内国際芸術祭 2016 の会期にあわせ、常設展”香川漆芸の祖 玉楮象谷 生誕 210 周年「香川漆芸美術展～その始まりと今～」”を開催した。また、展示にあわせ、講演会やワークショップも行った。



■香川漆芸美術展

会 期：平成 28 年 8 月 6 日（土）～9 月 19 日（月・祝）

会 場：県立ミュージアム 第 4・5 展示室

展示作品：玉楮象谷（1806 年生、生誕 210 年）作品 23 点
唐物漆器（中国の堆朱、タイ、ミャンマーの籃胎漆器）等 8 点
若手作家の作品 16 点、新商品（①事業成果品）7 点

来 場 者：12,038 名※ ※特別展観覧者と常設展のみの観覧者の合計。

■講演会

日 時：平成 28 年 8 月 20 日（土）

会 場：県立ミュージアム 講堂

講 師：小山登美夫氏（小山登美夫ギャラリー代表、明治大学国際日本学部特任准教授）

演 題：現代美術のアートマーケットと工芸

来 場 者：98 名

■ワークショップ

日 時：平成 28 年 8 月 27 日（土）10:00～、14:00～（2 回開催）

場 所：県立ミュージアム 研修室

講 師：漆芸研究所指導員 竹内幸司、津坂保伸、藪内江美

参加者：32 名（10:00～ 17 名、14:00～ 15 名）

④漆芸研究所修了作品貸出事業

県内外において優れた香川漆芸作品に触れる機会を創出するため、企業や団体に対し、一定期間無料で漆芸研究所保有の修了作品の貸出しを行った。

募集期間：平成 28 年 5 月 20 日（金）～6 月 30 日（木）

貸 出 先：14 企業 2 団体（うち県外 9、県内 7）

貸出点数：27 点（延べ 37 点の希望があったが、貸出点数を調整し全希望者に貸出）

⑤「漆の家」情報発信事業

瀬戸内国際芸術祭 2016 の期間中、男木島の「漆の家」を公開し、来場者に対する解説、ワークショップの開催、Web を活用した情報発信等を行った。

10 伝統的ものづくり観光資源PR事業【事業費 998,984円】

(平成27年度3月補正繰越分)

<人づくりの推進/普及啓発/販路開拓/事業者等に対する支援>

平成29年3月6日(月)～7日(火)の日程において、県外の旅行業者等を対象とした伝統的ものづくり等の地域の資源を活用したモニターツアーを実施するとともに、高松市の伝統的ものづくりPR動画「THE SOUNDS OF MANUFACTURING TRADITION」の上映会を開催した。

このツアーでは、高松市の伝統的ものづくりの工房や作業場等の見学、ワークショップを行い、伝統的ものづくりを県外等へPRできるような観光資源として付加価値を高め、どのようなサービス提案、消費拡大につなげられるか等、伝統的ものづくりを地域の資源として活用し、本市のものづくりの技術や素材等の域外への積極的なPRを実施した。

区分	実績数
モニターツアー参加	5人
モニターツアー受入	8事業者
PR動画上映会参加	21人

